

平成24年度利用状況
(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

1. あたみホーム (定員6名)

(1) 1日平均利用者数

- ① 目標 1日平均：5.0名 稼働率：83.3%
- ② 稼働率 1日平均：6.0名 稼働率：100.0%

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延日数	180	186	180	186	186								918
実人員	6	6	6	6	6								30
1日平均	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0								6.0

(2) 年齢状況

- ① 平均年齢 82.7歳
- ② 最高年齢 99歳
- ③ 最低年齢 62歳

(3) 要介護状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	1	1	1	2	1	6
割合	16.7%	16.7%	16.7%	33.2%	16.7%	100.0%

活 動 状 況

あたまホーム

(1) 余暇活動

利用者の要望に合わせてその都度対応している。

① 内 容

- 4月 開成山公園（利用者2名、家族1名）
- 5月 ショッピング【手芸用品購入】（利用者2名）
利用者の自宅【夏物衣類を取りに行く】（利用者1名）
- 6月 たこ焼き賞味会
- 7月 外食【ラーメン希望】（利用者1名、家族1名）
バーベキュー
玉川南棟との交流会（利用者5名）
- 8月 リステル猪苗代【お誕生会】（利用者1名、家族1名）
ホットケーキ賞味会（誕生会）
- 9月 外食【ラーメン希望】（利用者2名、家族1名）
お月見団子賞味会予定

② その他

- ・ダイエットがしたいという要望に応え、カービーダンスのDVDを流しました。
- ・感謝祭に向けて、ポケットティッシュカバーなどを作成し、来場者にプレゼントしました。

(2) 活動予定

- 10月 ドライブ
- 11月 豚汁作り

福祉サービス第三者評価結果表

① 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
評価実施日	平成24年3月2日
評価調査者番号	① 1905
	② 2005
	③

② 事業者

名 称 (法人名)	あたみホーム (社会福祉法人太田福祉記念 会)	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	園長 山崎 雅人	定 員 (利用者数)	100人 (100人)
所在地	〒963-1303 郡山市熱海町玉川字阿曾沢1番地30		
連絡先	電話番号：024(994)0888 FAX番号：024(994)0880 ホームページアドレス： http://www.ohta-fukushi.or.jp/ メールアドレス： atami@ohta-fukushi.or.jp		

③ 総 評

◇ 特に評価の高い点

【理念・基本方針の浸透】

法人理念としての「誓いの言葉」並びに基本方針としての「目指す職員像」が明文化され、その内容は社会福祉法が示す福祉サービスの基本的な理念等が網羅されている。理念や基本方針は職員採用時の研修で十分な説明を行うとともに、毎週月曜日の申し送りの際に唱和し、職員の意識が高まる工夫をしている。さらに、理念等に基づき年度ごとの各事業所の目標（経営ビジョン）を作成・評価するなど、社会福祉事業を実施するための根幹となる理念等が職員に浸透されている点が評価すべき点といえる。

【人材の確保・養成】

法人事務局の職員研修部は、職務年数に応じた研修計画を策定・実施し、管理者には職員のモチベーションを維持・向上という一貫した姿勢がある。管理者は自ら専門資格を取得し職員に奨励したり、資格取得に向けた環境設定や勉強会の申し入れなども積極的に受け入れている。また、職員採用計画についても文書化・整理され、福祉厚生事業も充実している。

【利用者本位の福祉サービス】

財団法人太田総合病院附属太田熱海病院が協力医療機関となり、内科・歯科・精神科など日常的な支援のほか、皮膚科・整形外科・泌尿器科・眼科等の医療支援体制が充実している。また、機能訓練指導員にあん摩マッサージ指圧師を配置する特長あるサービスを提供していることを自らの強みとし、「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」をスローガンに、清潔で明るい住環境の整備、離床に心がけた活動的な日課、標準的なサービスの提供に向けた各委員会の設置、分かりやすいマニュアルの策定、お出かけ支援やその場で選べる食事の選択メニューなど利用者本位のサービスが展開されている。

◇ 改善を要する点

【中・長期計画の策定】

法人が定めた理念の具現化に向けた施設の中・長期計画を策定し、当該年度の事業計画も中・長期計画に基づき策定し、実行・評価そして見直しという手順で事業展開を図って欲しい。明文化された中・長期計画を提示することは、より一層職員のマチベーションを向上させることにもつながっていくと思われる。

【人事考課等についての職員への周知】

人事考課の導入や実習生やボランティアの受入れなどについては定められた手順に沿った展開がなされているが、それらの目的や意義等が職員に十分伝わっていない面が見受けられたため、今後意義等を明文化した上で、職員に周知していく仕組みづくりの必要があると思われる。

【サービス実施状況の記録やマニュアルについて】

サービス実施計画は適切に作成されているが、記録の書き方には職員間のばらつきがあるように感じられた。また、施設内では慣習化された手順として確立されたものはあるものの、マニュアルとして明文化した方が好ましい。これらを整理することで、ベテランと若手職員や他職種間の理解・連携につながっていくと思われる。

④ 第三者評価に対する事業者のコメント

⑤ 評価結果

別紙のとおり